



コミュニティスクール

# CSだより



2021年7月20日  
CS理事長 花井 譲  
校長 後藤正和

昨年に引き続き、子どもたちはコロナ禍での生活様式にも対応しながら学校生活を送っています。そんな中でも、学校に出向くと子どもたちの笑い声が響きわたり、元気に体を動かしている姿があり、いつも元気をもらっています！子どもたちの学びを支えることは地域の役割と考え、感染症対策を十分講じながら、出来ることで関わっています。

## 農業体験活動支援部

いなすま会のみなさんと一緒に田植えやさつま芋の苗植え、大豆の種まきをしました。一斉に行うのではなく、時間を分けてクラスごとに分散して行うなど密にならないような工夫をしながらおこないました。

田植えでは、田んぼの中に入る時には「つめた〜い！」「気持ちわる〜！」と言いながら歓声を上げていた子どもたちでしたが、話をよく聞いて目印の紐に合わせて苗を植えました。「初めての田植えで、楽しかったです。」「植えた苗が元気に育ってほしいです。」「食べ物のありがたみを知ったので、これからは残さず食べたいです。」など子どもたちの感想がありました。



5月6日  
5年生 田植え



6月1日  
1・2年生  
さつま芋苗植え



7月6日  
1・2年生  
さつま芋畑の  
観察・草取り



7月9日  
3年生 大豆の種まき

パネル作り  
広い机で距離をとって作業しています。



カウンター前の  
ボードも手作り！

## 本となかよし部

学校支援の委員会のひとつで主に読書支援をしています。

1. 朝の読みきかせ
2. 図書室整備（本楽部）
3. 本に関する学校行事への参加

朝の読みきかせは、三雲おはなし会の方がボランティアで定期的に行っています。朝読の時間 10分間、各教室におじゃまします。

図書室整備は「本楽部」と名づけ、月に2〜3日活動しています。コミュニティルーム内の天白小図書室をより利用しやすくする為の作業をしています。ボランティアは保護者、児童、地域の方々など、どなたでも参加できます。活動日は定期的に出しているおたよりを見てください。

完成したパネル！  
「教科書にのっている本」



## 学びのサポート部

5月に予定していた星空観望会は三重県まん延防止等重点措置が適用されていたことから中止となりました。

7月、ようやくリバウンド阻止重点期間が解除され、ボランティアの皆さんにも教室に入らせていただくことができるようになりました。早速、5年生の家庭科での手縫いの小物づくりに、地域・保護者のボランティアの皆さんに延べ8日間、各時間5~6人が入って学習支援をおこないました。初めは上手く玉結びや玉留めが出来なかった子も、丁寧に教えてもらって取り組む姿がありました。針やアイロンをしましたが、大人の目がある事で子どもたちも安心して作業が出来ました。また、アイデアを形にする際にも、積極的にボランティアさんに声を掛けて、アドバイスをもらう姿が印象的でした。



9月からは、5・6年生がミシンを使う学習があります。子ども達が安全に安心してミシンを使って学習ができるよう、学習支援ボランティアの方に協力いただきます。



## きれいな学校づくり部

校内美化を目指し、花壇整備や学校の園芸委員会に参加しています。7月14日、夏の花苗を校門前花壇に植えました。放課後に花の手入れをしに行くと、子ども達が水やりや草抜きをお手伝いしてくれる事もあり、楽しく活動しています。

今後は、子ども達では手の行き届かない清掃などを手助けしていきたいと思っています。『学校でトイレしたくない』という声も聞きます。子ども達が、気持ちよく安心して学校で過ごせるよう、少しずつですが環境を整えていきます。



## ボランティア 募集中



天白小学校では家庭・地域と同じ「めざす子ども像」をもって学習活動をおこなっています。そのため、家庭や地域の方にもボランティアとして学校に来ていただき、ともに子どもたちの成長に関わっていただければと考えています。ホームページにも活動内容を載せていますので、見てください。

学校支援ボランティアに関心のある方がみえましたら、天白小学校(56-2123)までご連絡ください。